

CITATION:Oliveira MM, Conti C, Prado GF. Pharmacological treatment for Kleine-Levin syndrome *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2013, Issue 8. Art. No.: CD006685. DOI: 10.1002/14651858.CD006685.pub3..
CRG名: Epilepsy Group .

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 7 August 2013
Clib issue No.;N/U:2013 Issue 8; Update

アブストラクト

背景: 本記事は2009年第2号に発表されたオリジナルのコクラン・レビューの更新版である。

クライネ・レヴィン症候群(KLS)は、主に青年期の男性が罹患する珍しい疾患である。本疾患は、繰り返す過眠のエピソードを特徴としており、通常は、過食、認知および気分障害、性欲過剰などの異常行動、自律神経障害の徴候が付随して認められる。

1990年に、クライネ・レヴィン症候群の診断基準がthe International Classification of Sleep Disordersで修正され、KLSは、数日間持続する過度の眠気の再発エピソードであり、過食および異常行動を伴う場合と伴わない場合があるとして定義された。

クライネ・レヴィン症候群の原因はいまだ不明であり、数種の治療戦略が用いられてきた。薬剤の中には、KLS患者の治療に利益をもたらすと報告されているものもあるが、本疾患の希少性から、長期間の追跡療法はいまだ報告されていない。

目的: 本レビューは次の項目の評価を目的とした。

- 1.クライネ・レヴィン症候群に対する薬物療法は、有効かつ安全であるか。
- 2.どの薬物もしくは薬物カテゴリーが、有効かつ安全であるか。

検索戦略: 次の情報源から関連性のある試験を入手した。すなわち、Cochrane Epilepsy Group Specialized Register(2013年5月2日)、Cochrane Central Register of Controlled Trials (CENTRAL第4号、コクラン・ライブラリ2013年4月)、MEDLINE(1946年~2013年5月2日)、SCOPUS(2013年5月2日)、LILACS(2013年5月2日)、ClinicalTrials.gov(2013年5月2日)、WHO International Clinical Trials Registry Platform ICTRP(2013年5月2日)、睡眠医学テキストブックの参考文献一覧、レビュー論文および検索法で特定した論文の参考文献一覧。

選択基準: クライネ・レヴィン症候群の薬物介入を調査する全てのランダム化比較試験(RCT)ならびに準ランダム化比較試験を選択した。平行群間比較試験およびクロスオーバー試験の両方を含めた。

データ収集と分析: レビューア2名(MMOおよびCC)がオリジナルの論文に記載されているデータを抽出した。

主な結果: 本システマティック・レビューのための選択基準を満たす研究はなかった。

レビューアの結論: クライネ・レヴィン症候群に対する薬物療法についての二重ブラインド化プラセボ比較デザインの治療試験が必要である。

平易な要約(Plain language summary)

クライネ・レヴィン症候群の薬物療法

クライネ・レヴィン症候群(KLS)は主に青年期の男性が罹患する珍しい疾患です。繰り返す過眠症(過度のねむけ)エピソード、過食(食べ過ぎ)、異常行動を特徴としています。発作の頻発と性質は個人の社会的、職業的、家庭的生活を崩壊させる可能性があります。KLSの原因は不明です。神経刺激薬、抗てんかん薬、抗うつ薬、および抗精神病薬などのいくつかの治療法がこころみられており、多少の有効性が報告されていますが、本疾患の希少性のために、参加者の長期間の追跡調査は困難です。

本レビューの著者らは、クライネ・レヴィン症候群の薬物療法の有効性を調査しているランダム化比較試験(RCT)を特定し評価することを目的としていました。私たちはRCTを全く見つけだすことはできませんでした。そのために、良質のエビデンスが不足しており、二重ブラインド化プラセボ比較デザインを有する治療試験が必要です。

(監訳 三浦 智史)

翻訳公開日:2014年 8月 26日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。